

# 1 令和3年度《学校経営計画》 名張市立桔梗が丘小学校 学校長 廣岡茂斉

## 1 学校教育目標

「伸びよう つながろう 輝こう」～主体的に考え活動する子の育成をめざして～

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教職員像、保護者・地域像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもの思いや願いが大切にされ、一人ひとりが生き生きと楽しく学べる学校</li> <li>○ とともに学び合い、ともに高まっていこうと協力し合う学校</li> <li>○ 元気なあいさつと明るい会話が交わされる笑顔いっぱいの学校</li> <li>○ 家庭・地域から信頼される開かれた学校</li> </ul>
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>㊦「考える子」 自分の考えや夢をもち主体的に学び続ける子</li> <li>㊦「がんばる子」 めあてをもって取り組み、最後までやりぬく子</li> <li>㊦「優しい子」 相手の思いを受け止める人間性豊かな子</li> <li>㊦「協力する子」 なかまとつながり、支え合って共に生きていこうとする子</li> </ul>
○教職員像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもに寄り添い、その思いや願いを傾聴し、誠意と情熱をもって取り組む教職員</li> <li>○ チームワークを大切にし、信頼し合い、支え合って取り組む教職員</li> <li>○ 使命と責任を自覚し、積極的に研修と修養に努める教職員</li> <li>○ 児童・保護者・地域から信頼・尊敬される教職員</li> </ul>
○保護者・地域像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもを見守り育てる保護者・地域</li> <li>○ 学校の取り組みを理解し、連携・協働する保護者・地域</li> </ul>

## 3 学校の現状

○令和2年度の児童在籍数は、492名であり、その71%が桔梗が丘西地区から登校する。通学の安全を図るため、保護者・地域の協力のもと登下校の安全確保に努めている。

○保護者、地域については、学校教育に対する関心が高く協力的で熱心である。平成31年度からは学校運営協議会を設置し、コミュニティスクールとしてスタートしている。

○令和2年度の児童アンケートで「登下校の時よくあいさつをする」という回答は80%であるが、自ら進んであいさつする児童は少なく、学校全体の課題である。

○学力については、力をつけている児童が多いが、自ら主体的に判断し行動したり、自分の思いや願いを進んで伝えたりすることが苦手である。

○令和2年度の児童アンケートで「授業の内容はよくわかる」という回答は95%であるが、読書や家庭学習に進んで取り組む割合が75%と低い傾向にある。

○コロナウイルス感染症予防のための取組を継続し、徹底していくことに加え、休校措置等の可能性も高まっているので、遠隔授業の実施がスムーズにできるようにしていくことが急務である。

## 本年度の改善方策

・コロナウイルス感染拡大防止のための取り組みを徹底し、児童、保護者が安心して通うことのできる学校となるように努める。

・新桔梗が丘中学校区で小中一貫コミュニティスクールとして、学校運営が地域及び中学校区内の各校と連携・協働して進めていく。特に、「あじかそ」の周知を図ることで、義務教育9年間を見通しての桔中校区の子どもたちの育成を目指す。その際、新桔梗が丘中学校区においての取り組みを工夫していく。

・指導方法の工夫改善に努めるため、教科の特性を活かした全員参加の授業展開を考えて、子どもたちが主体的に学習できる魅力ある授業づくりを目指す。またICT機器を活用した主体的・対話的な学習の研究を進めていく。但し、実施においては感染症対策を優先する。

・読解力・思考力・判断力を養う基盤となる読書に親しむ機会を授業や家庭においても増やすよう働きかける。

・定時退校日の徹底と会議のペーパーレスによる効率化を図ることで総勤務時間の縮減に努め、教職員の時間外労働が月45時間、年間360時間以下になるようにし、心身ともに健康な職場づくりを目指す。

4 重点的な取組事項						
番号	内 容	実 施 期 間				
		元	2	3	4	5
1	主体的に学習できる魅力ある授業づくりを通しての学力・体力の向上	◎	◎			
2	一人ひとりの人権・命を大切にする、なかまづくり	○	○			
3	各校共通の生活指導項目「あじきかそ」の意欲的な取組	△	△			

## 5 令和2年度の重点目標

<b>重点的な取組事項－1</b>	感染症対策を徹底しながら、主体的に学習できる魅力ある授業づくりを通しての学力・体力の向上
-------------------	--

<b>A 今年度の成果目標</b>	
95%以上の子どもが、「授業がわかる」・「よく運動する」、また80%の子どもが「よく読書する」と思えることをめざす。	
<b>B 目標実現に向けた取組</b>	
具体的な方策	
①	授業時間を確保し、教育課程の正常な実施に努める。算数科においては少人数授業やTTで、一人一人に応じたきめ細かな指導を進め、楽しくわかる授業を展開していく。
②	教科の特性を活かし、全員が参加する授業展開をふまえた研究授業を公開し協議することで、子どもたちが主体的に学習できる魅力ある授業づくりを目指すとともに、ICT機器を活用した主体的・対話的な学習の研究を進めていく。
③	子どもたちが主体的に学習する基盤となる力を育むため、家庭と連携した体づくりと読書活動を授業や学校生活のあらゆる機会に設定し、実践していく。

<b>重点的な取組事項－2</b>	一人ひとりの人権・命を大切にする、なかまづくり
-------------------	-------------------------

<b>A 今年度の成果目標</b>	
自分につながる豊かな出会い(「ひと」「もの」「こと)」を通して、友だちと仲良く過ごしていると思える子どもが95%以上になることを目指す。	
<b>B 目標実現に向けた取組</b>	
具体的な方策	
①	感染症対策をしっかりと行うとともに自他のいのち、健康、こころを大切にする姿勢を育てる。また、自分のおもいや願いをみんなに伝えることができるとともに、友だちのおもいを受け止め、互いにつながっていくなかまづくりを進める。
②	人権・同和教育年間指導計画にそって、たくさんの豊かな出会いや体験活動を通して、自分大好き、友だち大好き、地域大好きと実感できるような自尊感情を育む。
③	日記・作文・家庭訪問・QU調査等を通して個々の人間関係や生活実態、背景を把握し、親和的な学級集団づくりを進める。

<b>重点的な取組事項－3</b>	桔中校区各校共通の生活指導項目「あじきかそ」の意欲的な取組
-------------------	-------------------------------

<b>A 今年度の成果目標</b>	
児童アンケートで、あいさつや家で進んで学習をしっかりとできる子どもが85%以上になることを目指す。	
<b>B 目標実現に向けた取組</b>	
具体的な方策	
①	桔梗が丘中学校区の小・中学校との連携を図り、桔梗が丘中学校区の児童としての意識を高めさせる。
②	児童会が中心となって、「あじきかそ」について児童の主体的・自発的な活動を促す。
③	児童や保護者にあいさつや家庭学習の取組への周知を図る発信を工夫し、意欲的な取組を目指す。「相手を見て 笑顔で 声を届けよう」をスローガンにあいさつに取り組んでいく。

## 6 学校における働き方改革の推進に向けた取組

上限時間に基づく目標		
成果指標①	1人当たりの月平均時間外労働	30 時間以下
	年 360 時間を超える時間外労働者数	0人
	月 45 時間を超える時間外労働者の延べ人数	0人
具体的な方策	定時退校日を水曜日とし、16:50を意識し、退校することを目標とする。残務でそれが かなわない時も、17:30退校を目標とする。 グループ研究開催日は、学校へは戻らない。	
休暇取得促進の目標		
成果指標②	1人当たりの年間休暇取得日数	12日以上
具体的な方策	学校閉校日を活用した年休取得。	
学校独自の取組		
活動指標	設定した日の定時に退校できた職員の割合	70%以上
	放課後に開催して 60 分以内に終了した会議の割合	50%以上
具体的な方策	会議のペーパーレス化・提案時間の設定・あいさつの省略・朝打ち合わせ提案等。	